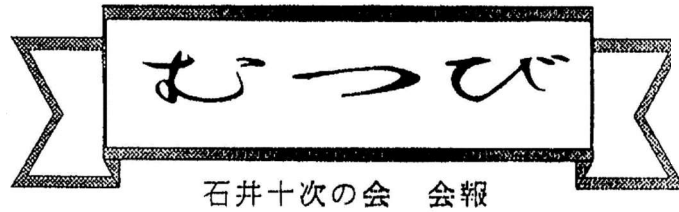


2024年  
(令和6年)  
8月15日



323号

## スポーツとスポーツが持つ力

西都市 田爪 淑子

夫と義父は「玄武館剣道スポーツ少年団」として昭和47年頃から剣道を通して子ども達にスポーツの素晴らしさと剣道の理念を伝えてきました。

それを間近で見ていた私を感じたことを少しお話できたらと思います。

剣道には「全日本剣道連盟」と「全国剣道道場連盟」の二つの連盟があります。

剣道は「道」が付く競技として、いろいろな面で厳しい競技だと私は思っています。着装、礼節、立ち居振る舞い、気・剣・体の一致、勝負がついた後の態度等。だからこそ試合が終わった後の選手には清々しいものを感じるのではないのでしょうか。

今年は4年に一度のオリンピックがフランスのパリで開催されます。

日本ではオリンピックに向かって出場する選手たちのひたむきな姿がメディアに映し出されています。

4年前の「ラグビー」ワールドカップにおける、“ワンチーム”の言葉が人々に感動を与えたことを思い出します。

「スポーツの力とは・・・」 皆さんはどのように考えられますか。

スポーツを見て、応援して楽しむ。

スポーツに汗を流して楽しむ。

スポーツに親しみ、体の健康をつくりながらスポーツを楽しむ。

誕生してから老人になるまで私達の生活に切り離せないものでもあります。

ここで「谷川俊太郎さんの詩」をご紹介します。

「まっすぐ」

まっすぐはとどく

まっすぐは貫く

まっすぐは跳ね返る

まっすぐは終わらない

この詩に出会った時、スポーツに取り組む姿勢や心にも同じことが言えると感じました。

何故スポーツは周りの人に感動を与えるのでしょうか。

その人がひたむきにまっすぐにスポーツに取り組む姿が感動を与えるのだと思います。

スポーツは身体の発達や成長を助けるだけでなく、心の発達をも養ってくれると考えます。

忍耐力や相手を思いやる心、相手を尊重する心、喜びを分かち合う豊かな心…。

スポーツを通して学べることが数多くあります。

スポーツは子ども達からどんな年代や性別の人に関係なく喜びや感動を与え成長させてくれるものだと信じます。

皆様もどうぞスポーツの力を信じて親しまれることを願って止みません。